

1.

52 10

56 4

13 4

4

2 7

19 3

30

19 4

23 4

6

25 3

2.

2.1

DVD

2.2

4 5

OJT

1

2.3 OJT



1.

OJT

(1)

50

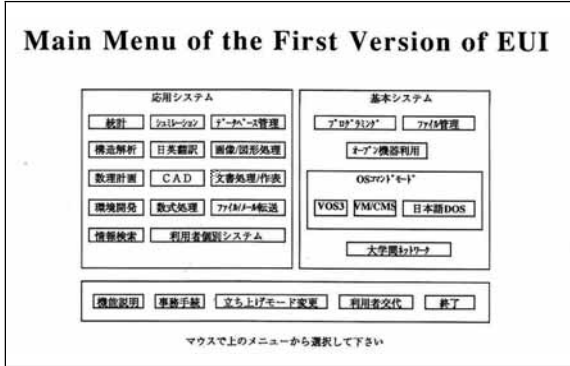
1

(2)

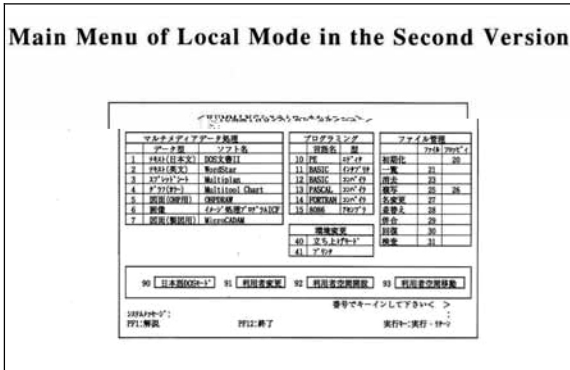
50

8 3 UNIX
15

RA x • ©



UNIX



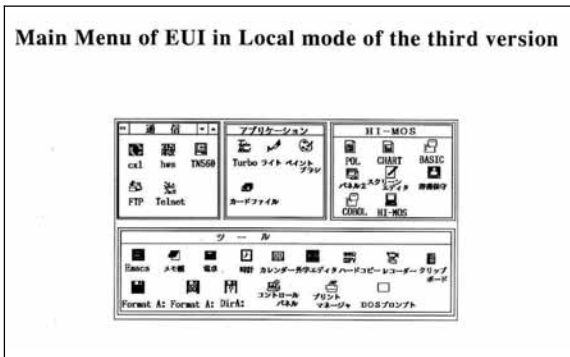
OJT

1

6

12

17



8

2.

MS DOS 1 2

MS WINDOWS 3

FD

SJIS KEIS

TGET TPUT

10

(3)

13 4

IMC

IMC

24 365

16 8 9

OJT

17 3

IMC

PC

16 10

10

IMC

IMC

IMC

IMC

IMC

IMC

IMC

HINET2007

14 7

IMC

IMC

19

16°



3. 19

1

19

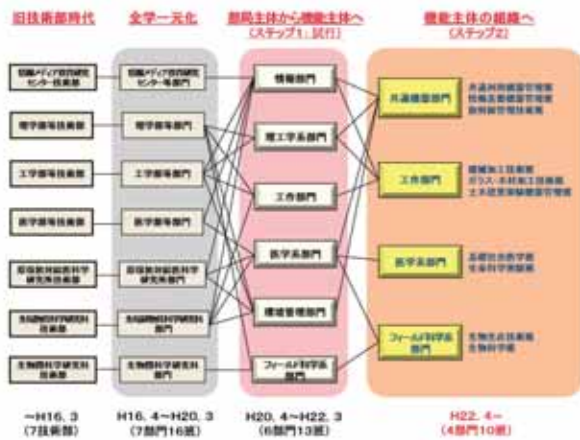
(1)

IMC

3.

3.1

16 4



4.

22 4

4

(2)

6

(4)

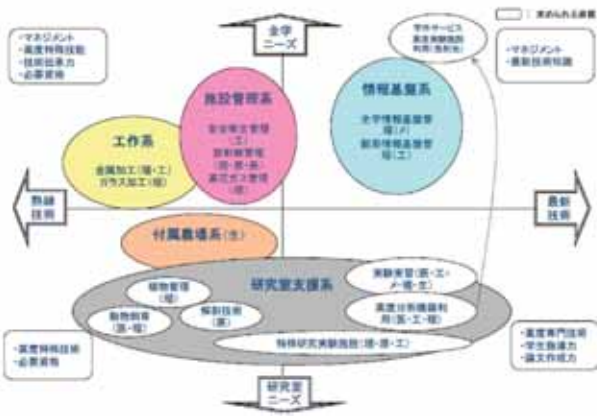
2

WG

(3)

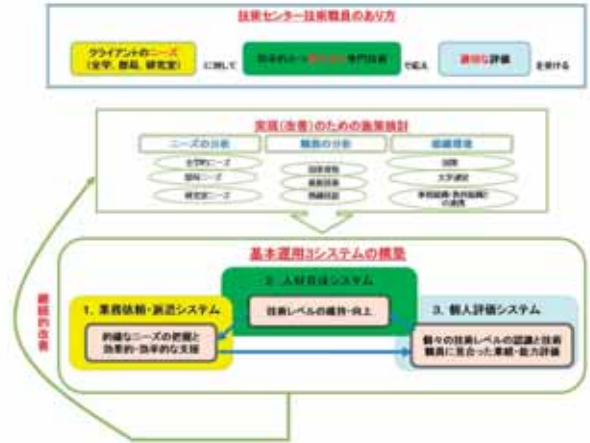
WG

技術センターの技術分布図-支援技術の範囲と特性-



5.

5



6.

(5)

4

1

4

1

2

4

1

3

6

7

3

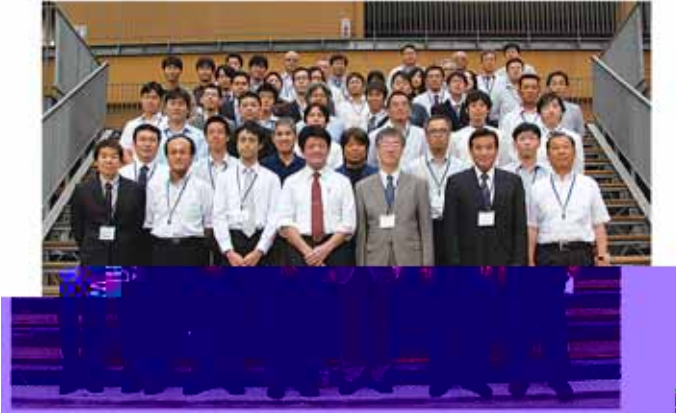
8

3

23

9

24



7. 23



8. 3

10

広島大学
ものづくりプラザ

プラザだより No.1

〈ものづくりプラザだより〉 創刊号

平成24年2月20日

・お知らせ
この度、工学研究科「学校工場」と理学研究科「特殊加工技術開発室」を統合整備し、「フェニックス工場」と一体化した「ものづくりプラザ」として整備しました。
「ものづくりプラザ」は、本学の学生及び教員・研究者等に対し、全学的なものづくりに係る教育支援及び研究支援を行うことを目的として、平成24年4月2日より運用を開始する予定です。

・施設紹介（所在地）

フェニックス工場は、平成6年、工学部の学校工場で学生のものづくり施設としてスタートしました。平成22年、設備・機材等を拡充した。全学の「学生主体のものづくり拠点」となり、卒論・修論等のためのものづくりに多くの方が利用しています。また、島人間コンテストに出場する 課題、全日本フォーミュラ大会に出場するフェニックスレーシングチームも利用しています。所定の手続きをいただければ、本学の学生・教職員であれば何方でも利用できます。

フェニックス工場は、平成6年、工学部の学校工場で学生のものづくり施設としてスタートしました。平成22年、設備・機材等を拡充した。全学の「学生主体のものづくり拠点」となり、卒論・修論等のためのものづくりに多くの方が利用しています。また、島人間コンテストに出場する 課題、全日本フォーミュラ大会に出場するフェニックスレーシングチームも利用しています。所定の手続きをいただければ、本学の学生・教職員であれば何方でも利用できます。

フェニックス工場は、平成6年、工学部の学校工場で学生のものづくり施設としてスタートしました。平成22年、設備・機材等を拡充した。全学の「学生主体のものづくり拠点」となり、卒論・修論等のためのものづくりに多くの方が利用しています。また、島人間コンテストに出場する 課題、全日本フォーミュラ大会に出場するフェニックスレーシングチームも利用しています。所定の手続きをいただければ、本学の学生・教職員であれば何方でも利用できます。

お問い合わせ先
○プラザ全般の相談 → 石原 7536 (ishihara@hiroshima-u.ac.jp)
○依頼工作についての相談
・機械加工室 → 村中 7547

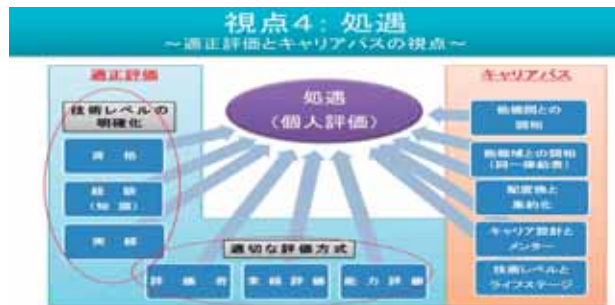
10.

3.2

(1)



9.



(2)

KEK

KEK

11

21

12

22

23

11.

23

KEK

PPT



12. 21 KEK

2

1 22 8

2

23 9

13

KEK

21 9 25

22 3 11

14

23 6

23 9

23 10

23 12

4



13. 23

PPT

(3)



14. 11

in

(4)

KEK

目的

- 「課題共有」に留まらない、「課題解決」に向けた検討・審議・決定の場
- 地域・近隣の共通性を活かした専門技術の共有、技術交流の場
- 全国各ブロックとの連携を図り、全国規模の技術職員会議の設立推進

活動概要

- 中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修の企画
- 広域な人材交流(大学を越えた技術の継承)を検討
- 技術職員が抱える共通課題の検討(組織化、技術の継承、処遇等)

実施状況

- 2008.08.26	第1回代表者会議 (山口大学)(18校,29名参加)
- 2009.05.12	第2回代表者会議 (岡山大学)(21校,24名参加)
- 2010.03.30	第3回代表者会議 (岡山大学)
- 2011.03.11	第4回代表者会議 (広島大学)
- 2012.03.9	第5回代表者会議 (広島大学)
- 2013.03.14,15	第6回代表者会議 (鳥取大学)

※ 2009.11.27 第64回中国・四国地区国立大学法人理事・事務局長会議にて了承
 ※ 開催案内は、各校人事担当を経由し、議事録は各校人事課長相当職に配布

15.



16.

WG

16

(5)

64

21 12

4

12 6

12 7 University of Technology, Sydney

12 8 University of New England

12 9 University of New South Wales

12 10 RMIT University
12 11 La Trobe University
12 12